

2019年度

神戸大学ジャンモネCoE ジャーナリスト向けワークショップ

「欧州からみた日中韓関係」

日時:2020年3月2日(月) 14:00 ~ 15:40

会場:神戸大学梅田インテリジェントラボラトリ

プログラム

14:00 開会の挨拶

14:05 講演1

講師:吉井 昌彦

神戸大学大学院経済学研究科教授兼神戸大学理事・副学長

タイトル:「EUからみた中国 -二つの相反する立場-」

14:35 講演2

講師:辛島 理人 神戸大学大学院国際文化学研究科准教授

タイトル:「欧州からみた日中韓関係:文化交流の視点から」

15:05 質疑応答・ディスカッション

15:35 閉会の挨拶

◆お申し込み方法◆

当日参加も可能ですが、会場準備の都合上、事前申し込みにご協力願います。

ご協力いただける場合は、神戸大学ジャンモネCoEのホームページよりお申込みいただくか、件名に「ジャーナリスト向けワークショップ申込み」、メール本文に氏名・勤務先・連絡先をご記入の上、2月27日(木)までにE-mailアドレス宛までお申し込みください。

なお、本ワークショップは、一般の方も参加可能です。

Webサイトからの申し込み:

<http://www.office.kobe-u.ac.jp/intl-prg/jmcoe/registration.html>

E-mail: intl-prg@office.kobe-u.ac.jp

担当:神戸大学国際教育総合センタープログラムコーディネート部門 渋谷

会場:神戸大学梅田インテリジェントラボラトリ
大阪市北区鶴野町1-9 梅田ゲートタワー8階

連絡先:06-6459-7049

アクセス:阪急「梅田」駅 徒歩3分, JR「大阪」駅 徒歩7分

Osaka Metro 御堂筋線「梅田」駅 徒歩6分

Osaka Metro 谷町線「東梅田駅」徒歩8分



会場案内図

- 講演概要 -

講演1

タイトル:EUからみた中国 -二つの相反する立場-

講師:吉井 昌彦

講演概要

中国経済はEUにとっても欠くべからざるものであるが、中国が一带一路構想の延長線上でギリシャ・ピレウス港、ハンガリー＝セルビア高速鉄道などへの投資を拡大していることに、EUは警戒感を隠せなくなってきた。これまでEUは、その地理的な遠さと経済的関係の強まりから、中国の潜在的脅威を認識してこなかったが、中国との経済連携を大切にしながらも、中国のグローバル経済システムへの一層の同化と潜在的脅威の削減に対して共同歩調を進めるべき時代へと移ってきた。

講師紹介

1985年12月神戸大学経済学部助手、同講師・助教授を経て、現在、神戸大学大学院経済学研究科教授兼神戸大学理事・副学長。神戸大学Jean Monnet Center of Excellence 代表。

講演2

タイトル:欧州からみた日中韓関係:文化交流の視点から

講師:辛島 理人

講演概要

ユーラシア大陸の東に位置するアジアでは、日本にならって韓国や中国が西に向かって文化外交を推し進めている。一方、西側にあるヨーロッパは、旧共産圏のEU加盟とイギリスのEU離脱で中心軸を東へと移している。その二つの関係を文化交流の視点から論じる。

講師紹介

1975年大阪生まれ。一橋大学経済学部卒業後、オーストラリア国立大学で博士号取得。関西学院大学などを経て2016年より現職。研究分野はアジア太平洋地域における知識の社会史。

神戸大学ジャンモネCoEとは

神戸大学は、2005年に欧州委員会の支援を受け、関西学院大学、大阪大学とのコンソーシアムにより設置したEU Institute in Japan, Kansai (EUIJ関西)の幹事校として活動を開始して以来、日本におけるEU教育・研究拠点の一つとして、欧州の諸大学、機関との交流を深めてきました。2015年9月より、エラスムス・プラスの下、ジャンモネCoEとして、学生への教育、研究、科学技術とのコラボレーション、アウトリーチ活動に取り組んでいます。(2018年9月より第2フェーズ開始)

ジャンモネCoEでは、学生のEU研究に対する関心を高めるだけでなく、日EU経済連携協定のもとで需要の高まるEU事情に精通した学生の育成、新たな世代のEU専門家やEU志向の強いビジネスパーソンを生み出すためにあらゆる活動を行っています。さらに、EU研究のさらなる発展のため神戸大学と欧州の大学との学術的交流を深め、神戸や関西地域においては、大学だけでなく広く社会一般にEUについての知識を広めることを重視したアウトリーチ活動に取り組んでいます。

神戸大学ジャンモネCoE

HP: <http://www.office.kobe-u.ac.jp/intl-prg/jmcoe/>

Twitter: https://twitter.com/KOBE_CKABEU